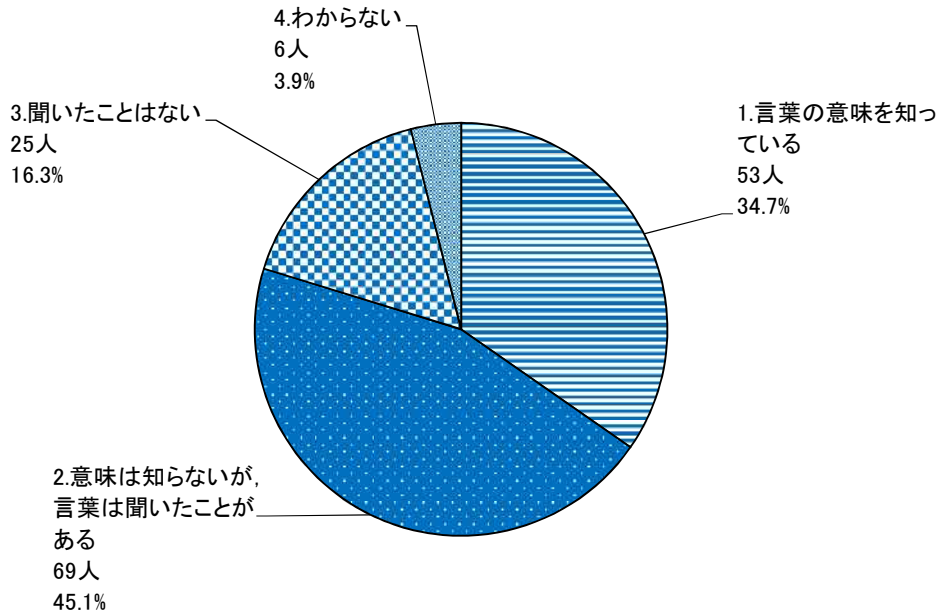


令和4年度 第5回 県政モニターアンケート調査結果

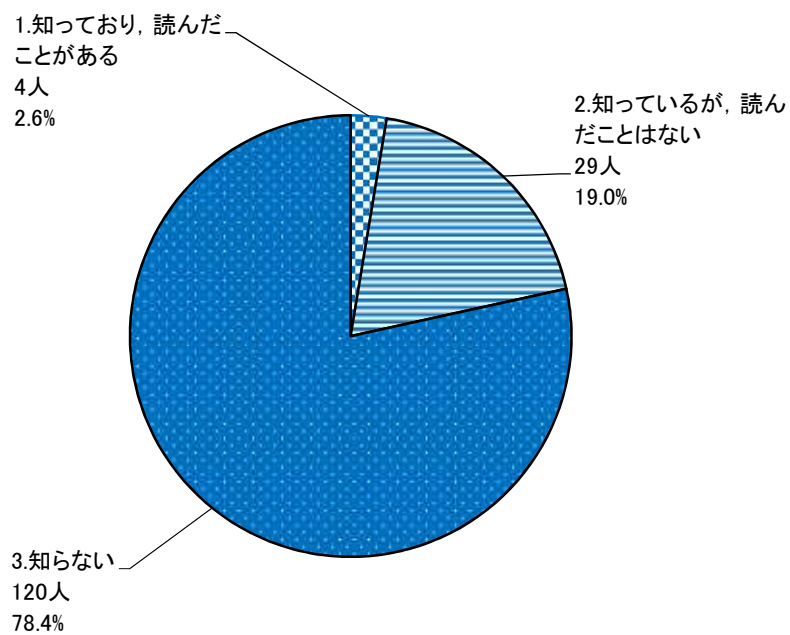
担当課: 環境林務部 自然保護課
電話: 099-286-2613

- テーマ: 「鹿児島県の生物多様性」について
- 調査目的: 鹿児島県における生物多様性の保全と持続可能な利用に関する基本計画として策定した「生物多様性鹿児島県戦略」の改定の参考とするため。
- 調査時期: 令和4年9月
- 調査対象数: 200人
- 回答者数: 153人(76.5%)

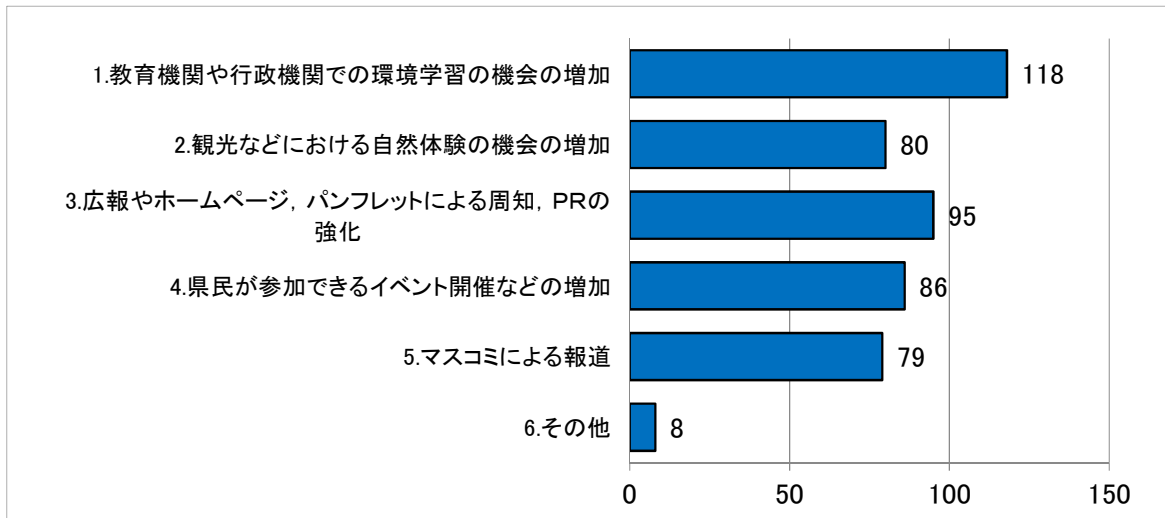
問1 あなたは「生物多様性」という言葉を知っていますか。



問2 あなたは平成26年3月に「生物多様性鹿児島県戦略」が策定されたことを知っていますか。

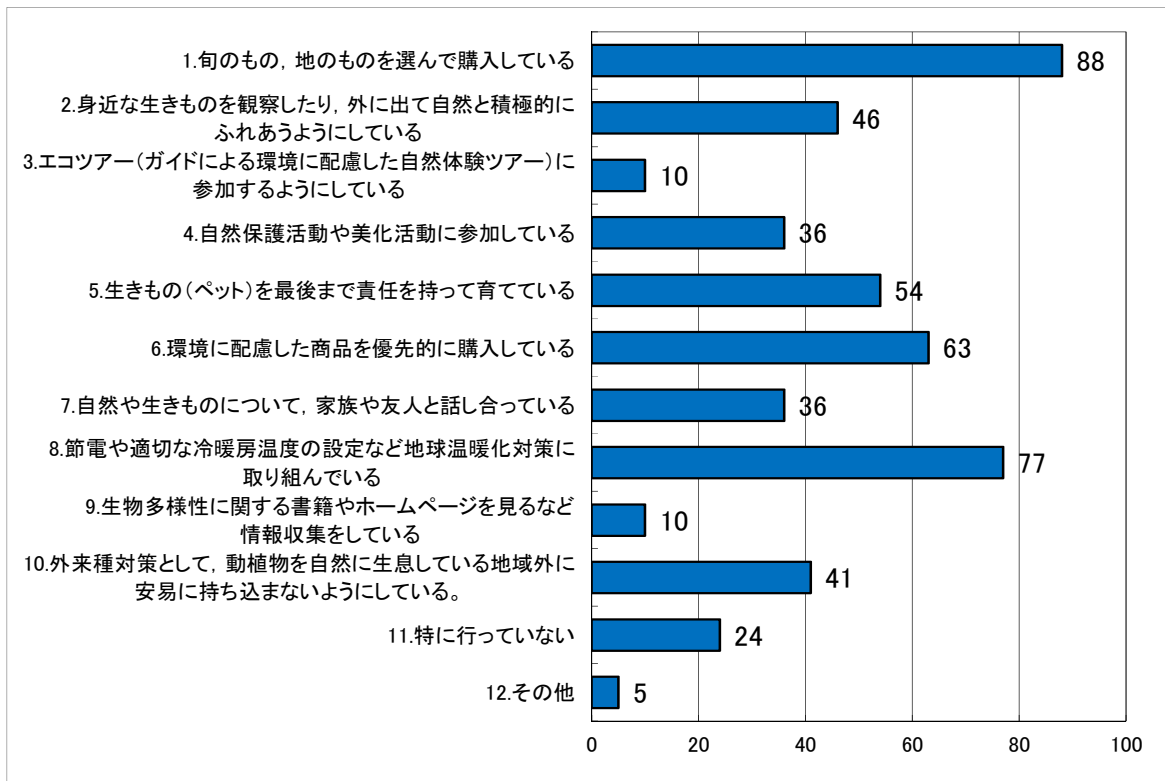


問3 「生物多様性」とは、たくさんの種類の生き物たちがいて、それぞれにつながっていることをいいます。こうした、生物多様性の大切さを県民に浸透させるために、あなたは何かが必要だと思いますか。(複数回答可)



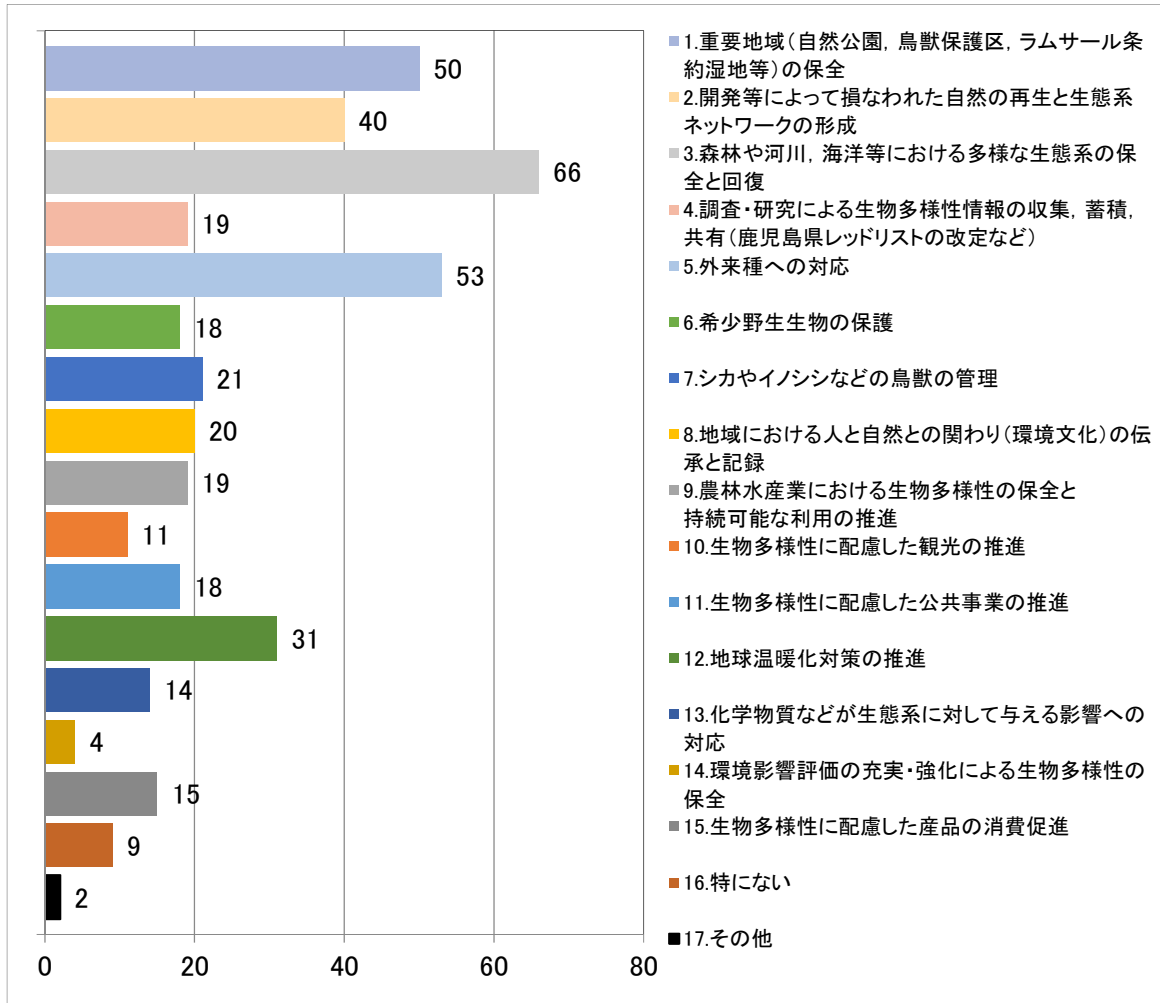
6. その他(いただいた御意見の一部を抜粋・編集して紹介しています。)
- ・県立博物館でのキャンペーン開催
 - ・幼少期からの教育
 - ・市街地に住んでいる方、特に小学生や幼稚園児などの若年齢世代に自然や多くの野生動植物とふれあう機会をつくる
 - ・チャレンジ拠点などで生まれる住民主体での活動

問4 あなたは、生物多様性を守るために、日頃からどのようなことを行っていますか。(複数回答可)



12. その他(いただいた御意見の一部を抜粋・編集して紹介しています。)
- ・県の鳥獣保護管理員となり、県の鳥獣の保護に努めた
 - ・海でのガイド業を仕事にしている
 - ・外来生物(植物)の除去に積極的に取り組んでいる
 - ・PTA活動を通して子どもたちの体験活動などのサポートをしている

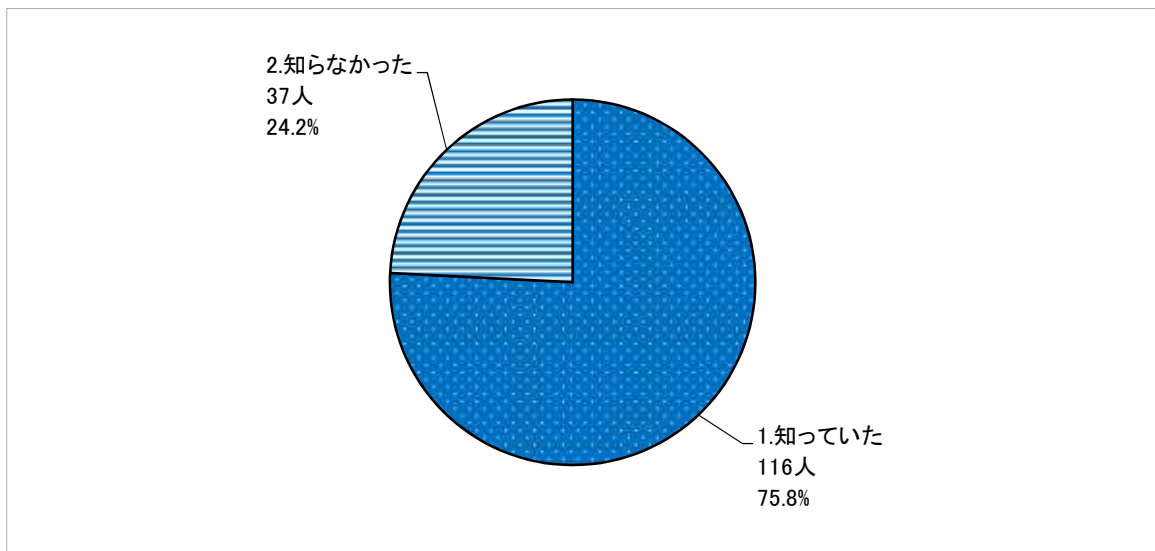
問5 生物多様性鹿児島県戦略では、新たな「自然と共生する社会」の実現のため以下のような取組を掲げています。重点的に取り組むべきだとあなたが考えることはどれですか。(回答は3つ以内)



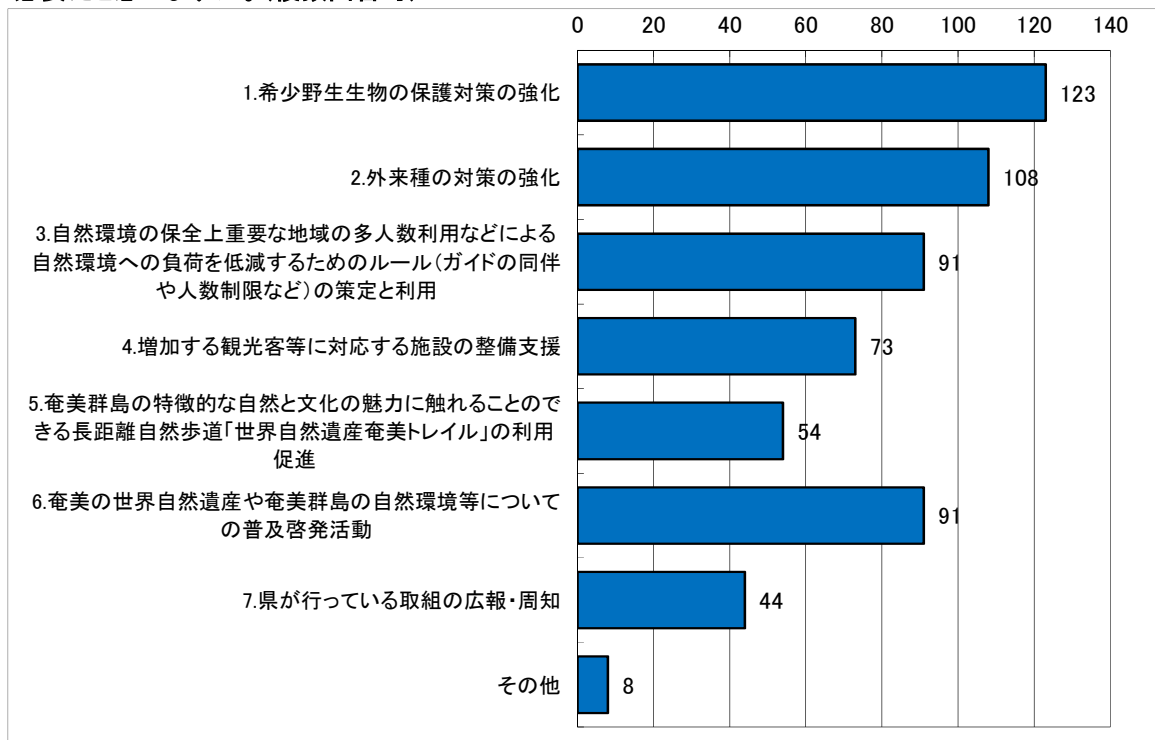
17.その他(いただいた御意見の一部を抜粋・編集して紹介しています。)

- ・伝統的な地元民との共生を考える
- ・県民の興味が湧くようプレゼントやポイント制を取り入れ, 活動につなげる
- ・住民の探究育成

問6 奄美が世界自然遺産に登録されましたが、奄美はそこにしかない希少種を含む多種多様な野生動植物の生息・生育地として重要な地域であると評価されたことが遺産登録の理由であると知っていましたか。



問7 世界自然遺産に登録された奄美の素晴らしい自然環境を守っていくためには、どのような取組が必要だと思いますか。(複数回答可)



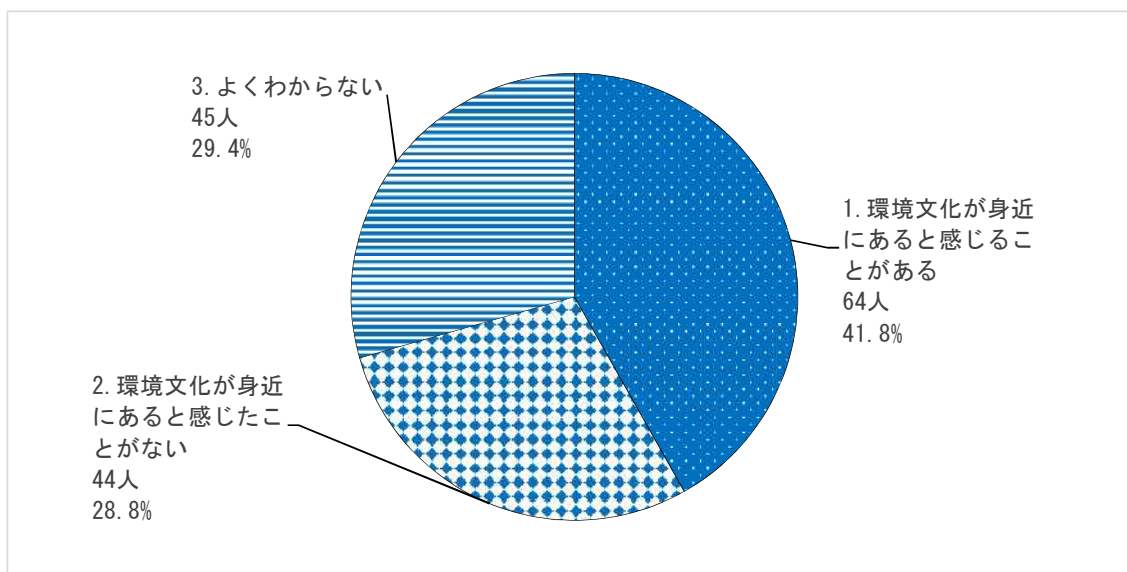
8.その他(いただいた御意見の一部を抜粋・編集して紹介しています。)

- ・観光業者や交通関係者の意識改革
- ・自然遺産の大切さを説明して入島者を制限する
- ・住民の探究育成
- ・ゴミや節電など環境問題についての住民意識の向上
- ・車の乗り入れ範囲の限定化、速度規制の強化、罰則の強化
- ・官民で連携を図り、超長期的な保全、運用の計画を作成する
- ・熱帯地方特有の地を生かすための普及啓蒙

問8 自然と共に生き、自然を損なうことなく糧(食料)を得ながら人々が形作ってきた独自の生活文化や、長年にわたり作りあげてきた人と自然との関わりのことを「環境文化」といいますが、「環境文化」が身近にあると感じることがありますか。

<環境文化の例>

鹿屋市周辺では、サツマイモの挿し穂を植栽するとき、穂先を西向きに植えることが伝承されていました。これは台風時の強い東風で蔓が傷まないようにするために、農家の知恵の一つです。



問9 御意見・御感想がありましたらお聞かせください。
[たくさん頂いた御意見の一部を抜粋・編集して紹介しています。]

- ・普段からはほど遠い設問ばかりでピンとこなかった。
- ・学校の総合教育等は良い事例だと思う。公園等の活用等が出来たら良いと思う。
- ・生物多様性を考える時、河川に近い山林には杉山の育成は出来るだけ行わないでほしい。河川近くには、小鳥や小動物の食材となる実をつける木を育成してほしい。
- ・世界遺産を観光客向けに考えている観光業者が目立つ。地域住民の生活を考慮した世界遺産を考えてほしい。
進出ホテルに就業して得られる収入が地域活性化と思うのは浅はかだと思う。地域住民の生活を豊かにしてこそ「鹿児島の資源活用」だと思う。
- ・「生物多様性」という言葉を聞いたことがなかった。知らない方々も多いと思う。戦略が平成26年3月に策定されたと記してあるが、数年間知らなかったことになる。(SDGsもあり、とても良い取り組みだと思う。)
「生きものを身近に感じ、正しい知識を身につけ、行動出来たら」と考える。
県としてもっとアピールしてください。県民皆で自然を守りましょう。
- ・この歳になっても知らないことが多く、新しいこと(自分にとって)を知ることは喜びで教育の大切さを実感する。行政にはいろいろな手段での広報等を希望する。
- ・今回のモニターアンケートを通じ、「豊かな生活」を送る上で、生物的多様性を考えることが重要なことだと、再認識させられた。今後少しでもお役に立つよう行動していきたいと思う。
- ・自然と共に生き食物を得てきたが、生物多様性ということ意識しての生活も重要だと思う。
- ・これまで日常生活の中で身近かつ重要な問題として考えていなかった。今後は、本問題に関する各種資料の活用及びあらゆる機会を通じ少なくとも他に悪影響を与えることのないよう努めたい。
- ・環境文化への関心は持っているが、住居が市街地で、身近に感じる機会があまりない。
- ・自然を損なっている一番の原因は、人間によるゴミのポイ捨てだと思う。これらの取り締まり、罰則を強化するのが有効だと思う。
- ・命の大切さや生物多様性によって、私たちの暮らしが支えられているということを改めて感じさせられた。
- ・山川の港も戦後、人が集まり一時的栄えた町なのに人がいなくなり、自然が素にもどってきた。雑草や木々が生いじり、人間が住めない場所になっている。電線にもツルがからまっており、ある意味、自然環境を守るという意味では参考になるのではないか。
- ・「生物多様性」といった用語については、その説明・内容を強くアピールする必要あり。
- ・小・中学校在学の時、家の畑・田んぼで野菜、稲等を作っていた。その時、祖母から植物の畑の耕し方、種の植え方、肥料のやり方等、いろいろ教えられました。

・奄美の世界遺産登録は喜ばしい事だが、多くの観光客への対応が必要だと思う。奄美の宝を守るために、迅速に動いて欲しい。

・今回のアンケート内容は専門的でよくわからないところもあったが、答えてみた。自分たちの周りは、山林と畑にかこまれ、静かな環境(自然)に恵まれていたことを思い知らされた。この自然環境は守っていくことが大切なんだと今回、あらためて思った。

・鹿児島県内のいろんな自然景観にふれてみたい。鹿児島県内を巡る自然景観無料公募バスツアー等企画してほしい。

・環境問題にも触れるけれども、森林が多い鹿児島県はこれを活かし、体験ができる場所を作る事も考えてみてはどうか。

・もっと、しあわせな島でありたいですね。

・自然環境等の普及啓発と同時に県外からの移住促進活動もできないか県民の一人として考える今日この頃です。

・2021年夏に奄美・徳之島が世界自然遺産に登録されましたが、登録がゴールではなく、今後も世界自然遺産として登録を抹消されることなく、遺産の価値が永久に維持されることが重要です。

・自然のない人生なんて考えられないですよ！本当に自然って偉大で私達人間をととも優しく包みこんでくれる暖かな存在ですよ。もし、自然が話ができるとしたら？！いったいどんな言葉でおしゃべりを始めるのだろうと感じてしまいますが、私も身近なところから自然を大切にすることに微力ながらも取りくんでいきたいと感じています。

・鹿児島県が一番環境を大切にしている県であるという事を、県民一人一人が自覚して生きられるようになってほしいです。子供の頃から考えてもらいたい内容です。

・キオビエダシヤクの虫が発生し、山、家、屋敷、神社、公園のツ葉の木(いぬまき)が多く枯れているのを見かける。特に北薩地域が多い。対策をお願いします。

・観光客への自然環境保全に対する意識付けや個々の観光マナー等、更なる啓発活動が必要だと感じた。

・本当に大切な物は何なのか？よく考えて命を守り、さらに地球を守り続け、これからの人々にも豊かな自然、豊かな心で人生を送ってもらいたい。そのためには、皆で何が大切なのかを考えていきたい。

・環境を整えるのは、やはり人間の仕事だと思う。大切にしないといけない物は大切に、皆に知って頂く事が重要だと思う。

・世界自然遺産に登録されたので、更に自然保護に力を入れる事業などが増えていけばいいと思う。

・私達の住む徳之島では、希少野生生物によるサトウキビの食害などもここ何年かで増加しており問題になっている。柵などを設置するための補助事業など対策がもっと必要になってくると思う。

・中山間の文化等を守りながら生活することも、生物多様性を守ることに繋がると思う。

・人間と動物との共生が必要です。日々の努力が、大切だと思います。

・生物多様性という言葉に馴染みはなかったが、自然界の生態系が崩れているという話はよく耳にする。わかりやすい言葉での広報や具体的な取り組み事例など、情報発信の強化に努めてほしい。

・全般的に県民への周知度合いが低過ぎると思うので、さらに平易な取り組みで周知を図ること。

・問7に関して、アマミノクロウサギが野猫に襲われ死亡する事が多く、野猫を捕獲して、殺処分をしようとするニュースを聞いた事があるが、人間が蛇退治のために猫やマンガースを持ち込んでおきながら、自分達に都合が悪くなると、猫やマンガースを殺処分しようとするのは身勝手である。

また、アマミノクロウサギが自動車に轢かれて死亡する事も報道されているので、奄美の自然に本当に触れたいと思うのであれば、歩いて見て回れる様にしてはどうか。

・自治体等で様々なエコツアーがあると参加したいと思う。

・生物多様性と聞いても身近な事と受け止められない方も多いかもかもしれませんが、もしもその種がいなくなったら、食物連鎖、環境連鎖の影響で、どれほど人類にとって危機的かなどを知らせる必要があると思います。経済のための乱獲なども含めて、家庭や食卓から「選択」をすることで、多様性を守る活動に参加できるのだというアナウンスをお願いしたいです。

・待った無しの地球環境であるのに、世界的に危機感が薄いと感じる。経済偏重の人間生活。それでも本当に経済的に真に潤っているのはほんの一握りであるのに。真の人としての幸福を追求するという方向に進まなければならないと思っている。

・生物多様性と、環境文化のつながりが私にはわかりにくい。

・生物多様化の四つの危機に対して、自分の出来る事から始めたい。まずは、知識と意識を持つように行動します。

・ソーラーパネルの無秩序な設置に伴う森林破壊は悲しい。厳しいチェックをしてほしいです。

・鹿児島県には素晴らしい自然がありとても美しいです。このありがたい自然を大切にするのも私達の役目でもあると思いますので、この機会に改めてどうするべきか、と考えてみました。

・この質問でいかに自分が生物多様性や環境文化に興味がないのか分かりました。新聞でもじっくり読まない分野です。

鹿屋のさつまいもの植え方も初めて知りました。もっと知りたいと思いましたが、どんなところで知り得るのだろうかと思ったとき、地元テレビなどで放送してもらえたらいいなと思いました。

・基本計画「生物多様性鹿児島県戦略」の戦略という言葉は生物多様性の保全や啓発などの取り組みには適さないと思います。

・農家がシカ、イノシシの被害対策で苦勞されているから、専従の駆除隊組織結成を望みます。

・畑などに科学肥料や除草剤など、使わないようにすることが大切だと思います。

・鹿児島は、近代化の進む市街地もあれば、人の手が入っていない自然を有する離島もあります。他県の人たちに比べると、生物多様性の考え方や自然を尊ぶ意識付けは、受け入れてもらいやすい環境にあると思います。行政だけでなく、地元民たちも巻き込んで、きちんとした実のある保全、運用プランを構成し、日本一環境に優しい県と言われるような体制作りをしてはどうでしょう。

・奄美の自然環境が壊されることなく、後世に残したい。

・環境団体だけでなく、個人ですこしでも関わりたいと考えている場合に、サポーター制度などで気軽に参加できるシステムがあれば活動が増えると考えます。

・二年前離島に転勤しましたが、自然の豊かさが本土とは桁違いです。海や山、すべての自然に圧倒されます。本土に住んでいた時には、全く感じるできませんでした。離島の豊かな自然を守り、後世に残していくために本土の方々も巻き込んで活動できたらと思いました。

・外来種と知らずに花を育てている方がおられます。周知と駆除活動が必要だと思います。

・世界自然遺産に登録された奄美大島についての特集番組等を拝見する機会があり、そこにしかない動植物の存在や希少性を知り、学ぶことができました。県の戦略についてはまだ不勉強なので、もっと知り学んでみたいと思っています。同時に観光客も含め、国内外の人にも知ってほしいし、ともに取り組める仕組みがあるとよいと思います。生物多様性や環境文化についても、どなたでも興味を持ち、いつからでも学べる機会が増えるといいなと思います。

・自然環境の保全及び生物多様性保護と対峙する自然開発は、その有効性を十分吟味する必要がある。